

♡親子読書『熊本の心』の感想より♡ (R2, 2学期実施)

【低学年】

「きゅうけい先生」

《児童》ひとよしには、二人のすばらしいひとがいたと思った。

《お家の方》「くまもとのこころ」には、熊本県内各地のお話が分かりやすくまとめてあり、子ども達が各地のことを知ることができるよい本だと思いました。特に人吉の偉人のきゅうけい先生のお話は、我が子の興味を引きました。10月の今月の歌がなぜ「旅愁」であるのか、きゅうけい先生が音楽の先生であったことなど、先生のことを知るきっかけになりました。川上哲治さんとともに、すばらしい人だと思ったようです。

「オトトケサボウ」

《児童》ケサボウは、やさしいところだった。にいさんも、そのところにきづいてほしかった。

《お家の方》球磨の話ということでこれを選びました。相手の気持ちを考えて行動できることの大切さを親子で考えさせられた内容でした。一緒に考える時間を設けられて良かったです。

「大きなのぞみ」

《児童》ぼく、万十のように大きなのぞみをもって、りっぱな大人になりたい。

《お家の方》万十という男の子は、小さいのに賢く向上心が強いところに感心した。皆が皆こうなるのは難しいかもしれないが、小さくても良いので常に目標をもって生活してほしい。

「きゅうけい先生」

《児童》いんどうきゅうけいさんは、いろいろな校歌をつくっているのをはじめてしりました。

《お家の方》10月の歌で旅愁を歌っているそうで、この題名のお話にしたそうです。自分も学生の頃よく歌ってたなあとても懐かしくなりました。

【中学年】

「ぼくの町のたいこおどり」

《児童》ぼくとの釣りに行く約束は、次の機会に行けるけど、お父さんのこの祭りの練習は、今やらないといけないから、ぼくもお祭りを待っている人たちを優先したいと思いました。

《お家の方》町内の祭りは、とても大切なものだと思います。子ども達に代々伝わる「お祭り」を教えることは、親の仕事だと思います。子どもが大きくなり大人になって、自分が子どもに教えられるようになってほしいですね。

「勝清と『彦一とんちばなし』」

《児童》「彦一とんちばなし」の話がおもしろそうなので、読んでみたいです。

《お家の方》「彦一とんちばなし」を作ろうと考えたきっかけや詳しい話の内容など、これまで知らなかった事を知る良いきっかけになりました。

「はとと馬」

《児童》はとのそうはという熊本の医者で、西南戦争の時にそうはさんは、敵にも味方にも戦争に関係ない人たちにもやさしくがんばってちりょうしてあげて、とてもいい人だと思います。私もそうはさんみたいにはできないけど、自分ができることなら友だちとかけがをしていいる人とかを手当てしてあげたいです。

《お家の方》敵、味方関係なくみんな平等に治療してくれてとても優しい医者ですね！学校生活でもいろんなことがあるだろうけど、みんな同じように接してほしいと思いました。

「布田保之助の心」

《児童》難しいことにチャレンジして村の人を助けようとして、失敗してもくじけずにやって成功させてすごいと思った。

《お家の方》私も小学生の頃、布田保之助について学んだことを覚えています。先人のおかげで今のくらしがあるということ、失敗にくじけずチャレンジし続けた精神を強く感じました。

【高学年】

「人生の金メダル」

《児童》私も、教えてくれる人の話を聞いたりして、サッカーが上手になりたいです。練習もしたいです。

《お家の方》「天ぐになるな『自分は強い』と思ったら、それ以上のびない」という言葉は、その通りだと思いました。「自分はできる」と自信を持つのは大切ですが、もっとのびるためには、一番と思い込まず「もっとできる」と思い、のびる自分を信じて何にでも頑張る人になってほしいです。

「金栗たび」

《児童》一度オリンピックでした失敗をいかし、何度も何度もたびの改良や呼吸の仕方などを繰り返していて、すごくみんなから尊敬されるようなすごい人なんだなあと思いました。

《お家の方》素晴らしい影響を後の日本に伝えてくれたことに、熊本人として、一人の人として尊敬します。マラソンは自分との戦いと聞きますが、しっかり自分を見つめ直し、後世に役立つようにと考えた金栗さんは日本人としても誇りです。

「雲にのりたい」

《児童》自分が思った夢に向かってつき進むところがこの人のいいところだと思います。また、反対されても子どものために給食を作っているところもいいところだと思います。こういうことは、将来自分も見習いたいと思います。

《お家の方》中学卒業までに沢山の夢をもってほしいです。その夢が自分を導いてくれるはずですよ。夢は人生において一つ一つの通過点に過ぎませんが、大きな人生の終着地点を目指して歩いてほしいです。世の中の、社会の、人の役に立つ生き方をしてください。

【ひまわり・たんぽぽ学級】

「まつりにこめられたねがい」

《児童》まさおくんが、まつりのことをしてよかったとおもいました。

《お家の方》人吉にはおくんち祭りがあって、八代には妙見祭があって、その土地々でいろんな祭りがあることが分かりました。今回コロナで中止になって残念ですが、いつかまた見に行きたいと思います。

「きゅうけい先生」

《児童》これからも西小のこうかをだいじにし、ほこりをもって大きい声でうたおうと思ったし、いんどうきゅうけいさんは、やっぱりすごい人なんだなあと思いました。

《お家の方》犬童球溪の作品は、人柄が出ているように思います。また、音楽は心の肥やし。本と同様に、癒やしてくれるし励まされ学ぶことも多いです。映像やゲームよりも本や音楽の世界にもっと興味を持ってくれると嬉しいです。

「順子先生と少年」

《児童》順子先生は、とってもやさしくてえらい方です。

《お家の方》順子先生のように広い心を持って正しく導けるようになればすばらしいなあと思いました。

「あきらめることは無意味だ！」

《児童》ぼくは、いさおさんが命をかけるところがすごいなあと思いました。

《お家の方》目標などもそうですが、年月はかかっても諦めないこと、頑張ることに意義があるんだなあと思いました。